

～ 十人十色の子育て&親育ち～

【親のみちしるべ】

メッセージ

ついつい人とくらべてしまう自分。でも、くらべていると疲れてしまう。

“カンパキな親”なんていないし、“カンパキな人間”は いない。

… でも、今の自分は、頑張らなくちゃならないものが、いっぱいあるんです…。

“そんなに頑張らなくてください。あなたが壊れてしまいます。”

でも、みんな頑張っているのに…。

“そんなに自分を責めないでください。親だって人間です。”

… でも、ちゃんと育てなくちゃと思うと、失敗できない…

“それでは、一緒に見つけませんか。”

10年先のあなたと、みんなの幸せを求めて…このプログラムで、一緒に「みちしるべ」を見つけないか。

「大丈夫？」  
ひとりて  
悩まないで」



不安や悩みは  
話すとおちよっと  
楽になりますよ。



< 編集後記 >

平成19年度文部科学省から家庭教育支援総合推進事業が委託され、「みやぎ地域家庭教育推進協議会」を中心に、県内の子育て、家庭教育力の向上を目的とした情報や学習機会の提供、父親を対象とした家庭教育支援事業を積極的に推進してまいりました。その成果として、子育てサポーター等の人材育成や家庭教育支援チーム、お父さんたちのネットワークなど組織の充実が図られました。

今回、家庭教育支援が各支援チームを中心に積極的に展開できるようにということで、各分野の専門の方々にお集まりいただき、宮城県独自の『親の学びのプログラム』を作成いたしました。被災地である宮城の復興にこのプログラムが役立つことを祈念いたします。

平成25年3月

宮城県版 親の学びのプログラム作成委員会  
委員長 猪平 眞理（宮城教育大学教授）



宮城県版親の学びのプログラム作成委員（50音順・敬称略）

- 委員 石川 伸二（宮城県教育庁教育企画室室長補佐）
- 副委員長 石垣 政裕（お父さんたちのネットワーク世話人）
- 委員 和泉 かほる（宮城県保健福祉部子育て支援課技術主査）
- 委員長 猪平 眞理（宮城教育大学教授）
- 委員 岩岡 明子（学校法人慈園学園中新田幼稚園園長）
- 委員 佐々木とし子（宮城県地域活動連絡協議会会長）
- 委員 佐々木憲枝（NPO法人社会教育スポーツBIG BELL代表）
- 委員 佐藤 智子（宮城県子ども総合センター主幹）
- 委員 杉山 義隆（大河原町立大河原小学校主幹教諭）
- 委員 中保 良子（名取市教育委員会社会教育指導員）
- 委員 波多野 ゆか（親業訓練インストラクターすまいるすきっぷ代表）
- 委員 松崎 和佳子（宮城県教育庁生涯学習課社会教育推進班主幹）



挿絵 小野 智香



～ 十人十色の子育て&親育ち～

# 親のみちしるべ

## “カンパキな親なんていない”

## 子育てしながら親になっていこう



“地域みんなでスクラム組んで見守りたいですね”

平成25年3月

宮城県教育委員会

はじめに

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から2年が経過いたしました。本県においては震災復興計画に定めた「復旧期」の最終年度である平成25年度に向けて懸命に復旧復興に努めているところです。特に、今年は「巳年」でありますことから、蛇が象徴するといわれる「復活」や「再生」にあわせて、大震災から復活、再生への大きな一歩を刻む年であると考えております。

さて、家庭教育が教育基本法に位置づけられて早5年が経過しました。本県では、家庭教育基盤の形成を中心に人材養成や家庭教育支援（サポート）チームの設置に取り組んでまいりました。

平成23年9月に策定した宮城県震災復興計画では、「地域全体で子どもを育てる体制を強化」、「家庭教育や子育て、学習機会に関する情報を積極的に提供し、地域で子育てを支援する人材の育成」を通じて家庭の教育力の向上を図ることをねらいとしております。

今回、この震災復興計画を踏まえ作成した宮城県版『親の学びのプログラム』は、子育て中の親のため、親同士が交流を図りながら子育てに必要な知識やスキルを主体的に学ぶことができる参加型の学習プログラムです。本プログラムを活用することで、親同士が交流しあえる関係づくりや地域で家庭教育を支えるネットワークの構築につながるものと考えております。

結びになりましたが、本プログラムの作成及びモデル講座の実践にあたり、ご指導・ご協力をいただきました本プログラム作成委員会の委員の皆様をはじめ、各関係機関の皆様にご心からお礼申し上げます。

平成25年3月

宮城県教育委員会 教育長 高橋 仁

## 宮城県版 親の学びのプログラム『親のみちしるべ』～十人十色の子育て&親育ち～ [プログラム構成]

- ステージ① 「自分と向き合う」～輝いていますか？『笑顔』～
- ステージ② 「赤ちゃんが生まれて」“子育て”が“ひとりっきり”にならないように  
～ かわいいんだけど気持ちは複雑～（育児ストレス解消）
- ステージ③ 「子育てと仕事の両立」～仕事…続けていけるのかな？～
- ステージ④ 「小さな社会へデビュー」～子どもが保育所・幼稚園へ！～
- ステージ⑤ 「第2子誕生」～ライバル出現?!～
- ステージ⑥ 「子どもが小学校へ入学」～わくわく！はじめての入学！！  
期待がいっぱい！でも、不安も…～
- ステージ⑦ 「お父さんの出番！」育メン・育ジイ時代の到来  
～お父さん飛びます!!～
- ステージ⑧ 「親と子のコミュニケーション」～毎日毎日のことだから～
- ステージ⑨ 「子どもたちの未来に寄り添っていこう」  
～子どもの頃のやさしい温かさをおぼえていますか？～
- ステージ⑩ 「子育てって自分育ち？」～これからの人生に向けて～

## 宮城県版 親の学びのプログラム『親のみちしるべ』の概要



- A3版（両面印刷）は、参加者用です。
- A4版（両面印刷）は、進行（ファシリテーター）用です。

### 1 プログラムの特徴

このプログラムは、子育て中の親を対象とした学習機会（研修・講座・懇談会・個人診断・個人の振り返り等）に活用できます。参加型学習の様々な手法を用いて（グループワーク）、参加者同士が交流しながら、『気付き』のきっかけをつくることのできるような工夫がされています。そして、子育て中の親が、子育てをとおして元気になっていくことをねらいとしています。

- ☆ ワークシートや紙芝居を活用することで、子育てサポーター・子育てサポーターリーダー等、誰が行っても効果が得られるようにします。
- ☆ 参加型学習で学習者一人一人がそれぞれ異なる経験・知識・意見等をもっていることを尊重し、そこから生まれる対話や相互の学び愛を目指します。

※1 宮城県「学ぶ土台づくり推進計画」目標1 親子間の愛着形成の促進を意識し「合い→愛」にしました。

### 2 プログラムの対象・活用場面

#### (1) 活用する対象

- ・子育て中の親
- ・子どもに関わる大人すべて  
（祖父母・曾祖父母・家族・親戚、  
子育てサポーター、子育てサポーター  
近所の大人・地域の大人 等）



#### (2) 活用する場面

- ・保育所、幼稚園、児童館……保護者会
- ・小・中学校……入学説明会、PTA研修会、学級懇談会、保護者会
- ・地域……親の学び塾、家庭教育学級、子育てサークル、家庭教育支援サークル
- ・健診等……乳幼児健診、就学時健診
- ・公民館、社会教育施設、子育て支援センター等……家庭教育講座
- ・アウトリーチ（訪問）型

